＊＊2013 年 4 月 5 日（第 5 版）
＊2012 年 3 月 28 日（第 4 版）
（＊＊）届出番号：13B2X10206000021

機械器具 09 画像診断用イメージャ （70036000）
一般医療機器 特定保守管理医療機器

レーザーイメージャー DRYPRO MODEL 873

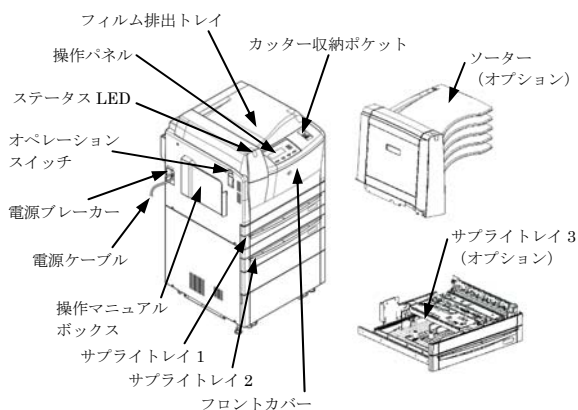
【形状、構造及び原理等】

1. 形状、構造

1) 画像診断用イメージャ レーザーイメージャー DRYPRO MODEL 873（以下 DRYPRO 873 という）は、以下のユニットにより構成される。

(1)	サプライ部（トレイ 1、2）	2 式
(2)	位置規制部	1 式
(3)	露光部	1 式
(4)	熱現像部	1 式
(5)	冷却搬送部	1 式
(6)	脱臭フィルター	1 式
(7)	電装部	1 式
(8)	操作部	1 式
(9)	サプライ部（トレイ 3）（オプション）	1 式
(10)	ソーター（オプション）	1 式

詳細は取扱説明書を参照してください。

2) 各部の名称

3) 電気定格
定格電源電圧 ：単相 AC 100V
定格電源周波数 ：50 又は 60 Hz
消費電流 ：11A

4) 本体寸法及び重量
外形寸法(mm) ：幅 599×奥 585×高 1150
幅 599×奥 585×高 1459
（ソーター着用時）
重量 ：約 145kg 以下 （本体のみ）

2. 原理
DRYPRO 873 を施設内の通信網に接続し、通信先からの指令で受信した画像データを自動的にフィルムにプリントして排出する。露光部ではレーザー光でフィルム潜像を形成し、熱現像部で熱現像を行う。
電装部は画像データの処理、及び全体の制御を行う。

【使用目的、効能又は効果】

DRYPRO 873 は病院等で使用し、画像診断装置等から受けた画像信号をフィルムにプリントすることを目的としたものである。

【品目仕様等】

形態：
ドライ方式
使用可能フィルム：
ブルー、クリア（各種 5 サイズ）
マンモ(3 サイズ)
処理能力：
標準時
約 180 枚/時（各種 5 サイズ連続コピー）
マンモ
約 110 枚/時（各種 3 サイズ連続コピー）
フィルムサプライ：
トレイ方式（標準 2、最大 3 トレイ）
出力階調：
16384 階調（14 ビット）

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用環境条件
温度 ：15～30 ℃
湿度 ：30～70 %RH（結露なきこと）
電源電圧 ：単相 AC 100V ±10%

2. 操作方法手順

(1) 使用前
①電源投入前に、電源ケーブル及び外部装置との通信ケーブルが正しく接続されていることを確認する。

(2) 起動
①DRYPRO 873 本体正面の左側面にある電源ブレーカーを ON にする。
②本体正面の左側面にあるオペレーションスイッチを、ビープ音が鳴るまで（1 秒程度）押す。
③ウォームアップが完了すると、操作パネルの表示画面に“プリントできます”が表示されプリント可能となる。

(3) 終了
①操作パネルの表示画面に“プリント中”と表示されていないことを確認する。
②オペレーションスイッチを、ビープ音が鳴るまで（1 秒程度）押し、終了する。

詳細は取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

1. DRYPRO 873 を使用の際は、設置環境(温度、湿度、電源定格)を守ること。
2. フィルムは DRYPRO 873 に適合した製品を使用すること。
3. DRYPRO 873 のアースが確実に接続されていることを確認すること。
4. 全てのコード類の接続が確実に、正確に行われていることを確認すること。付属の電源ケーブルは本装置専用のため、他の装置に使用しないこと。
5. 装置を使用する前に必ず始業点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。
6. DRYPRO 873 に不具合が発生した場合は、電源を切り「故障中」等の適切な表示を行い最寄りの弊社サービス窓口へ連絡すること。
7. DRYPRO 873 本体のカバーを開けた状態で使用しないこと。
8. 清掃、点検の際は必ず電源を切ること。

取扱説明書を必ずご参照ください

9. フィルム交換の際にはバリアシート、紙トレイの取り扱いに注意すること。
10. トレイを閉めるときには手をはさまないよう十分注意すること。
11. DRYPRO 873 の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器使用は、本装置に障害をおよぼす恐れがあるので使用しないこと。
12. DRYPRO 873 は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
13. プリントしたフィルムは患者情報等を確認したうえで使用すること。
14. 画像出力後のフィルムは、フィルム排出トレイに長時間（１時間以上）放置しないこと。
15. 未使用のフィルム、及び本装置でプリントしたフィルムの取り扱いについては取扱説明書に従うこと。
16. DRYPRO 873 を廃棄する場合は、産業廃棄物となる。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。
17. フィルムを廃棄する際は、認定された廃棄物処理業者に処理を委託するか、産業廃棄物として、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。
18. 使用状況によっては画像上に埃や異物が原因と思われるアーチファクトが確認される場合があります。アーチファクトが多くなり画像観察がしにくいと感じられた場合は、フィルム交換時にサプライトレイ内部を清掃してください。また、増設マンモ対応トレイ（オプション）を使用していて上記のような場合は、クリーニングローラーの清掃を行ってください。

詳細は取扱説明書を参照してください。

【貯蔵·保管方法及び使用期間等】

1. 保管方法

①水のかからない場所に保管してください。
②気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管してください。
③傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意してください。
④化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

2. 保管環境条件

温度　：　-20～60　℃
湿度　：　20～90　%RH（結露なきこと）

3. 耐用期間

指定された保守点検を実施した場合に限り 6 年間です。（自己認証（当社データ）による）

但し、耐用期間は使用条件、使用環境により差異を生じることがあります。

【保守点検に係る事項】

1. DRYPRO 873 の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
2. 使用者による日常及び業者による定期点検を必ず行ってください。点検、清掃の際は粉塵等が飛散する場合がありますので、マスク等の保護具を着用してください。
3. 使用者による保守点検項目

項　目		点検頻度
①QC パターンのプリントと QC パターン結果の確認	基準値設定時	連続 3 回
	通常時	1 週間毎
②フィルム排出トレイの清掃		3 ヶ月毎
③サプライトレイの清掃		3 ヶ月毎
④吸気口/排気口の清掃		6 ヶ月毎
⑤脱臭フィルターの交換		2 年毎、又は 1 万枚プリント毎
⑥クリーニングローラー清掃		2000 プリント毎（マンモユーザー）

4. 業者による主な保守点検項目

項　目		点検頻度
熱現像部	ガイド清掃	5 万枚プリント毎
制御ボックス	吸気口フィルター	5 万枚プリント毎
電源ユニット	吸気口フィルター	5 万枚プリント毎

詳細は取扱説明書を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

（＊＊）製造販売業者名 コニカミノルタ株式会社
住所　〒191-8511
東京都日野市さくら町 1 番地
電話番号　042-589-8421

（＊）製造業者名　コニカミノルタテクノプロダクト株式会社

取扱説明書を必ずご参照ください

0991AA01JA01　20130405KM